

# 立命館法學

2023年 第3号

## 論 説

- 立法府における男女共同参画の推進……………大西 祥 世…(1)  
 ——ガラスの天井を打破し、「ジェンダーに配慮した議会」へ——
- 軍隊におけるジェンダー平等政策が企図するもの……………久保田 茉莉…(42)  
 ——フランスの取り組みからの検討——
- 犯罪と行為・社会・法益・法的関係(4・完)……………生田 勝 義…(77)  
 ——タトゥー事件最高裁決定を受けて犯罪類型の相対性を考える——
- もう一人の刑法学者 M. M. イサーエフ……………上田 寛…(127)  
 ——ロシア刑法学のソビエト時代——
- 刑罰とは何か(2)……………冠野 つぐみ…(158)  
 ——非刑罰的措置と対比して——
- 生成 AI と知的財産法上の諸問題……………日原 拓 哉…(206)  
 ——刑事規制の観点から——
- 控訴審における有罪自判と自由権規約14条5項……………久岡 康 成…(255)
- 有罪答弁制度と合理的な疑いを越えた証明……………清水 拓 磨…(280)
- 公判中心主義と被疑者・被告人の権利保障(7・完)……………延 秀 斌…(303)  
 ——韓国の刑事訴訟法との比較研究——
- 留保所有権および動産譲渡担保権の対抗要件における矛盾・迷走：  
 占有改定に対する差別的取扱いが最大の要因……………生 熊 長 幸…(341)  
 ——「担保法制の見直しに関する要綱案のとりまとめに向けた検討」に寄せて——
- 顔情報の取扱をめぐる民事裁判の法源……………小田 美 佐 子…(379)  
 ——中国最高人民法院の司法解釈と民法典人格権編の規定を中心に——
- 消費者法と持続可能性原則……………谷 本 圭 子…(411)  
 ——「欧州グリーン・ディール」からの示唆——
- 「権利行使阻害型」不法行為による損害賠償請求権と  
 消滅時効……………松 本 克 美…(443)
- 個人情報保護の私法的基礎に関する序論的考察(1)……………山 田 希…(459)  
 ——財産権と人格権の交錯する領域における理論的課題——
- 複数行為者の不法行為責任に関する基礎理論的考察(5)……………尾 藤 司…(485)  
 ——民法719条1項後段の責任の意義と限界——
- 賠償責任保険契約における故意免責(4・完)……………山 田 拓 広…(528)
- 民営職業斡旋事業法制の履行確保機構による  
 労働者保護(3・完)……………西 畑 佳 奈…(561)  
 ——イギリス労働関連法制の履行確保機構の統合議論を中心に——
- 立憲民主党の役割と課題、  
 「維新の会」のポピュリズムと「強さ」……………村 上 弘…(600)  
 ——「身を切る改革」のデメリットと節約額は、なぜ論じられないのか——
- 公共施設統廃合への賛否……………柳 至…(649)  
 ——住民調査の分析——

## 判 例 研 究

### 刑事判例研究32

- 大麻草の種子が発芽生育できる環境下で、大麻草の種子を地中に埋めた  
 (播種した)場合、その時点で大麻栽培罪は既遂となるとされた事例  
 (東京高判令和3年9月28日高刑集73巻2号2頁、  
 高刑速令和3年259頁、判タ1501号104頁)……………刑事判例研究会…(674)  
 小川 大 成

## 研 究 ノ ー ト

- 大審院(民事)判決の基礎的研究・20……………木 村 和 成…(698)  
 ——判決原本の分析と検討(大正12年7月分)——